

—読売広告社 都市生活研究所—

住民が「愛着」や「誇り」を感じる街をランキング  
『シビックプライドランキング2020 発表』

## シビックプライド 総合1位は「港区」

関東TOP3「港区」「文京区」「目黒区」、関西TOP3「西宮市」「箕面市」「吹田市」

株式会社 読売広告社（本社：東京都港区 代表取締役社長：藤沼大輔）都市生活研究所では、2008年より市民や街に関わる人たちが、その地域、街に対して持つ意識「シビックプライド」に関する研究を行っています。

この度、2018年に引き続き、関東圏（1都6県）・関西圏（2府4県）における住民人口10万人以上の自治体（151自治体）居住者を対象に、住民の街への評価を明らかにする“シビックプライド調査 2020”を実施しましたので、そのランキング集計の結果概要についてお知らせいたします。

## 総合ランキング

1位	港区	東京都
2位	西宮市	兵庫県
3位	文京区	東京都
4位	目黒区	東京都
5位	武蔵野市	東京都

## 愛着ランキング

1位	港区	東京都
2位	西宮市	兵庫県
3位	箕面市	大阪府
4位	武蔵野市	東京都
5位	目黒区	東京都

## 誇りランキング

1位	港区	東京都
2位	文京区	東京都
3位	西宮市	兵庫県
4位	目黒区	東京都
5位	中央区	東京都

Civic Pride  
RANKING

シビックプライド ランキング

## 共感ランキング

1位	港区	東京都
2位	文京区	兵庫県
3位	武蔵野市	東京都
4位	箕面市	大阪府
5位	横浜市	神奈川県

## 継続居住意向ランキング

1位	港区	東京都
2位	西宮市	兵庫県
3位	目黒区	東京都
4位	文京区	東京都
5位	横浜市	神奈川県

## 他者推奨意向ランキング

1位	港区	東京都
2位	西宮市	兵庫県
3位	文京区	東京都
4位	武蔵野市	東京都
5位	目黒区	東京都

シビックプライド CivicPride 「シビックプライド/CivicPride」は、株式会社読売広告社の登録商標です。

社会環境変化に伴い、生活者のライフスタイルも急速に変化する中で、住民が自分の住む街に対して持つ意識や重視点も変わり続けていると考えられます。本調査の分析については、今後読売広告社 都市生活研究所のホームページを通じて情報を提供してまいります。

# シビックプライド調査2020 概要

## ■ 調査方法

インターネット調査

## ■ 調査対象者

以下対象エリアの自治体に住む 20歳～64歳\*の男女 (\*前回2018年は20歳～59歳で実施)

## ■ 調査対象エリア

関東圏（1都6県）、関西圏（2府4県）における人口10万人以上の151自治体

－対象自治体一覧－

関東圏						関西圏	
<東京都>	八王子市	平塚市	木更津市	加須市	足利市	<京都府>	<兵庫県>
中央区	町田市	茅ヶ崎市	成田市	ふじみ野市	佐野市	京都市	神戸市
港区	府中市	厚木市	我孫子市	富士見市	那須塩原市	宇治市	姫路市
新宿区	調布市	大和市	鎌ヶ谷市	坂戸市		<大阪府>	西宮市
文京区	西東京市	小田原市	<埼玉県>	<茨城県>		大阪市	尼崎市
台東区	小平市	秦野市	さいたま市	水戸市		堺市	明石市
墨田区	日野市	鎌倉市	川口市	つくば市		東大阪市	加古川市
江東区	三鷹市	海老名市	川越市	日立市		枚方市	宝塚市
品川区	立川市	座間市	所沢市	ひたちなか市		豊中市	伊丹市
目黒区	東村山市	伊勢原市	越谷市	古河市		吹田市	川西市
大田区	多摩市	<千葉県>	草加市	土浦市		高槻市	三田市
世田谷区	武蔵野市	千葉市	春日部市	取手市		茨木市	<滋賀県>
渋谷区	青梅市	船橋市	上尾市	筑西市		八尾市	大津市
中野区	国分寺市	松戸市	熊谷市	<群馬県>		寝屋川市	草津市
杉並区	小金井市	市川市	新座市	高崎市		岸和田市	長浜市
豊島区	東久留米市	柏市	狭山市	前橋市		和泉市	東近江市
北区	昭島市	市原市	久喜市	太田市		守口市	彦根市
荒川区	<神奈川県>	八千代市	入間市	伊勢崎市		箕面市	<奈良県>
板橋区	横浜市	流山市	深谷市	桐生市		門真市	奈良市
練馬区	川崎市	佐倉市	朝霞市	<栃木県>		大東市	橿原市
足立区	相模原市	習志野市	戸田市	宇都宮市		松原市	生駒市
葛飾区	藤沢市	浦安市	三郷市	小山市		富田林市	<和歌山県>
江戸川区	横須賀市	野田市	鴻巣市	栃木市		羽曳野市	和歌山市

## ■ 調査内容

- ・現在 住んでいる街（自治体）に対する意識
  - －街に対する意識（愛着、誇り、共感、継続居住意向、他者推奨意向、地域とのつながり など）
  - －街の環境評価（インフラ、街並み、治安、地域イベント、育児環境、SDGs（ジェンダー平等） など）
  - －街に対して感じる気分や気持ち
- ・現在 住んでいる都道府県に対する意識
- ・現在 住んでいる街に転入してきた理由
- ・住みたい街に対して重視するもの

## ■ 有効回収数

15,100s ※各自治体100s

## ■ 調査時期

2020年3月19日～3月24日

## 総合ランキング（1位～30位）

### 【総合ランキング1位：港区】

その先進性やステータス性といった面で注目される港区ですが、本調査では「街づくりに積極的に関与したい」「この街をもっとよい街にしたい」といった点でもトップ評価となっており、住民の街のあり方への意識（共感）が高いこともポイントとなっているようです。

### 【総合ランキング2位：西宮市】

文教住宅都市として教育環境が整っているだけでなく、文化・交通、買い物等の利便性もそろった西宮市は前回2018年調査でも上位グループでしたが、今回さらに順位をあげて2位となりました。本調査では、どの項目もバランスよく評価が高くなっており、「この街から離れても戻ってきたい」や「今後もこの街に住み続けたい」と評価する人が特に多い傾向がみられました。

### 【その他上位の自治体】

関東圏では、東京23区が多くあがったほか、東京市部の武蔵野市・三鷹市、神奈川県横浜市・藤沢市・鎌倉市、関西圏では、大阪府の箕面市、吹田市、高槻市、兵庫県の神戸市などがランクインしました。

総合ポイント



1位	港区	東京都	777.2
2位	西宮市	兵庫県	742.4
3位	文京区	東京都	741.1
4位	目黒区	東京都	738.3
5位	武蔵野市	東京都	735.1
6位	箕面市	大阪府	732.5
7位	横浜市	神奈川県	723.1
8位	中央区	東京都	722.4
9位	吹田市	大阪府	714.5
10位	高槻市	大阪府	711.1
11位	渋谷区	東京都	707.8
12位	藤沢市	神奈川県	703.3
13位	神戸市	兵庫県	702.0
14位	浦安市	千葉県	699.2
15位	鎌倉市	神奈川県	694.9

16位	三鷹市	東京都	692.4
17位	江東区	東京都	691.1
18位	豊中市	大阪府	690.1
19位	豊島区	東京都	689.8
20位	習志野市	千葉県	687.8
21位	墨田区	東京都	687.4
22位	台東区	東京都	686.5
23位	明石市	兵庫県	683.4
24位	品川区	東京都	683.3
25位	練馬区	東京都	679.0
26位	茅ヶ崎市	神奈川県	676.0
27位	生駒市	奈良県	675.7
28位	京都市	京都府	672.6
29位	柏市	千葉県	672.3
30位	小田原市	神奈川県	671.5

### ■ランキング集計方法について

総合ランキングのポイントは、「愛着」「誇り」「共感」「継続居住意向」「他者推奨意向」5指標のスコアを足し上げ、1000点満点化したものです。

なお、5指標のスコアについては、以下質問内容を[非常にあてはまる～まったくあてはまらない]の7段階で聴取し、[非常にあてはまる]を7点～[まったくあてはまらない]を1点とし、平均値を算出しています。

【愛着】	「この街に愛着を持っている」	【継続居住意向】	「今後もこの街に住み続けたい」
【誇り】	「この街に誇りを持っている」	【他者推奨意向】	「この街を人にも勧めたい」
【共感】	「この街（のあり方）に共感している」		

## ■シビックプライドランキング2020 リーフレット ※2020年9月上旬制作予定

今回の「シビックプライド調査 2020」について、総合ランキングの30位以降順位も掲載した「シビックプライド ランキング 2020 リーフレット」を2020年9月上旬以降に制作予定です。自治体関係者のみなさまで、ご興味のある方は、以下のアドレスまでご連絡ください。ご希望される方に、PDFファイルにてお送りさせていただきます。

メールアドレス： [cpide-rg@yomiko.co.jp](mailto:cpide-rg@yomiko.co.jp)

## ■シビックプライド／Civic Prideとは

シビックプライドとは、その都市に対する誇りや愛着のことで、いわゆる「郷土愛／ノスタルジア」とは少し違うニュアンスを持つこの考え方は、都市をより良い場所にするために自分自身が関わっているという当事者意識に基づく自負心といえます。



## ～都市と生活者の未来を拓く～

「都市」は、その時代を生きる人々の価値観・行動により変化する。そしてその都市において、「生活者」自身もまた生き方を変えていく。「都市」と「生活者」は、互いに影響を与え常に変化を続けるが、その潮流を捉え、兆しを見つけること。それは、未来を拓くヒントになると思う。

### ●会社概要

株式会社読売広告社

■代表者：代表取締役社長 藤沼大輔

■所在地：東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル

## お問い合わせ先

### ■本リリースについて

総務部：田代、大瀧

TEL 03-5544-7104

### ■シビックプライド調査2020について

都市生活研究所 生活者フォーサイト研究ルーム：関、青山

メールアドレス [cpide-rg@yomiko.co.jp](mailto:cpide-rg@yomiko.co.jp)

### ■その他 自治体の皆様からのお問合せ

ひとまちみらい研究センター 土屋、上野

メールアドレス [hitomachi@yomiko.co.jp](mailto:hitomachi@yomiko.co.jp)

URL <http://www.hitomachimirai.jp/>